

骨子・構成案			担当
大	中	小	
はじめに			松本委員長
審議の経過について			事務局
1 仙台市における現状 ―こどもの学びと居場所―	1（１）こどもの学びの場		事務局
	1（２）こどもの居場所とそこでの学び		
	1（３）まとめ		松本委員長
2 こどもの学ぶ喜びと居場所について（総論） （総論・共通事項 ※提言の骨子含む）	2（１）学び	①やりたいことができ、何もしなくてもよい（学びの特徴）【地域】	松本委員長 朴副委員長
		②安心・安全で失敗できる環境（学びの環境）【地域】	
		③多様性に応じた包摂的な環境（学びの環境）【外国】	
		④地域とのつながりによる学び（学びづくりの方法）【外国】	
	2（２）居場所	①こどもと親それぞれに必要な居場所（居場所の対象）【地域】	
		②学校の重要性（居場所の場所）【外国】	
		③利用のしやすさと多様性（居場所の種類）【地域】	
		④地域や社会とのつながり（居場所づくりの方法）【外国】	
	2（３）キーパーソン（人とのつながり）	①市民の力の育成と活用（キーパーソンの種類）【地域】【外国】	
		②学校への支援（キーパーソンの種類）【外国】	
		③後継者育成（キーパーソンの種類）【外国】	
	2（４）行政の支援	①経済的支援【地域】	
		②場所の支援【地域】	
		③学校との連携【外国】	
		④NPOやボランティアとの連携【外国】	
3 地域におけるこどもの学びと居場所 （各論１）	3（１）はじめに	各論の概要	内藤委員
	3（２）学び	①こどもの学び	阿部委員・安藤委員
		②大人の学び（こどもを取り巻く大人）	
	3（３）居場所のあり方	①こどもの居場所のあり方	高橋美和委員・松本委員長
		②大人の居場所のあり方	
	3（４）キーパーソン（人とのつながり）	①支援者の思い	中山委員・沼里委員
		②後継者育成、人材確保の支援等	
	3（５）行政の支援	①経済的支援	内藤委員
		②場所の提供	
		③人への支援	
	3（６）小括		松本委員長
4 外国にルーツを持つこどもの学びと居場所 （各論２）	4（１）はじめに	調査先の概要、市公表データの分析、現状の問題点等	泉山委員
	4（２）学び	①利用する側にとっての学び	高橋由臣委員
		②支援する側にとっての学び	齋藤委員
		③支援する側と利用する側の両者をつなぐ手段	若生委員
	4（３）居場所	①学校教育の居場所	高橋由臣委員
		②外国にルーツを持つ人にとって、居場所とは何か	齋藤委員
		③社会教育の居場所	朴副委員長
	4（４）キーパーソン（人とのつながり）	①地域の人の事例（キーパーソンの種類、後継者育成、人材探しの支援等）	泉山委員・朴副委員長
		②外国にルーツを持つこどもたちが、将来どんな影響をもたらすか	朴副委員長
	4（５）行政の支援	①こどもへの周知方法（特に義務教育後）	若生委員
		②居場所づくりの機会醸成・場所の提供	泉山委員
	4（６）小括		泉山委員
おわりに			朴副委員長